

難治性疾患研修会

開催日時:2021年10月21日(木) ①13:30~14:30

※1日2回開催いたします

②17:30~18:30

開催形式:オンライン配信(ZOOM使用)

対 象:患者・家族および医療従事者

講 師:聖マリアンナ医科大学病院

脳神経内科 准教授 兼 パーキンソン病治療センター 副センター長 白石 眞 先生

テーマ

パーキンソン病治療を 成功に導く多職種連携

パーキンソン病の有病率は10万人当たり150人前後、本邦の患者数は20万人といわれ、世界規模では2030年までに3000万人に達すると推定されている。パーキンソン病は運動障害のみならず、うつ、認知症など多彩な非運動症状を伴う神経難病であり、病態解明および新規治療法の開発は喫緊の課題である。近年病態の進展に関して、腸内あるいは嗅球を介して脳内に広がる伝搬仮説が提唱され、伝搬抑制への抗体療法の臨床試験が行われている。この他、治療薬の開発は盛んでこの10年において多数の新規治療薬が上市された。また進行期においては、2016年に専用ポンプを用いた空腸投与用レボドパ・カルビドパ水和物配合剤が承認され、脳深部刺激療法を含めデバイス療法としての選択肢が広がった。一方、健康寿命については十分満足のものとは言い難い。今後ドクター中心のケアからトータルマネージメントとして、看護師、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、介護士など多職種のチームワークが不可欠であり、当院ではパーキンソン病治療センターを設立し、チーム医療を推進させている。

主催:聖マリアンナ医科大学病院 メディカルサポートセンター

セミナー参加 URL の取得のためには、メールでのお申し込みが必要です。メールの件名を研修会参加希望としていただき、メールに氏名およびご所属を明記の上、メディカルサポートセンター難病相談の下記メールアドレスまでご送付ください。受付完了後にセミナー参加 URL をメールにてご連絡させていただきます。

問い合わせ先:メディカルサポートセンター 難病相談部門

TEL: 044-977-8111 (代) E-mail: ims.soudan@marianna-u.ac.jp